

## (書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	岸本充生 大阪大学データビリティフロンティア機構
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	日本リスク学会は、様々な分野を「リスク」という横串でつなぐという重要な機能を持っています。また、リスクの対象、つまり何を守りたいか、については、人の命だけでなく、生態系だったり、人権や人としての尊厳、民主主義など、ますます広がっています。所属大学で4月1日に設立された社会技術共創研究センター(通称、ELSIセンター)のセンター長を兼任することになり、様々な新規科学技術の倫理的・法的・社会的課題(ELSI)に取り組むことになりました。不確実な科学的知見を、政策や社会とどう結びつけるかという視点は、まさにリスク学です。ELSIも取り込み、リスク学をさらにアップデートする必要があると考えており、リスク学会にもそうした新しい分野も取り組んでいけるようにしたいと思っています。
② 本学会におけ る活動歴	学会誌への論文は共著も含めて数本。2008年には奨励賞を受賞。2012年から4期にわたって、理事として事業委員会の委員長を務め、タスクグループの立ち上げにかかわった。
③ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	工業技術院に就職したのち、産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター、続いて安全科学研究部門に所属。2014年から2017年まで東京大学公共政策大学院と政策ビジョン研究センター特任教授。2017年4月より現職。

## (書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	岸本充生
② 推薦者の 姓名と所属	東海明宏 大阪大学工学研究科 環境・エネルギー工学専攻
③ 推薦理由 (400 字程度)	本氏は、わが国のリスク研究拠点の一つである産業技術総合研究所の安全科学研究部門持続可能性ガバナンスグループ研究グループ長を経て、東京大学公共政策大学院及び政策ビジョン研究センターに3年在籍し、大阪大学に移りました。自然科学的な研究成果を踏まえつつ社会科学的視点からリスク研究において目覚ましい活躍をされてきた。研究面だけでなく、公的な活動にもリーダーシップを発揮するとともに実践的な政策提言を行っている。複雑化し相互依存が高まる社会・政治・経済状況のなか、国内外でリスクガバナンスのあり方が問われる様々な問題が顕在化しており、問題(群)の多面性かつ相互関連性を俯瞰した社会的な提言が求められている今、本学会が果たすべき役割と責務は極めて大きい。研究企画力と遂行能力に優れた岸本氏に、国内外との学際的協働を強化すべくリーダーシップを発揮して頂きたく、岸本氏を理事候補として推薦します。